

第7回 安倍川流域委員会 議事要旨（案）

中部地方整備局では、「安倍川水系河川整備計画（大臣管理区間）案」を作成するため、同整備計画原案を議論頂いた。

【開催日時等】

日時：平成20年1月10日（木） 14:00～16:00
場所：サンパレスホテル 2F

【出席者】

大坪委員長、齋藤副委員長、石川委員、板井委員、市川委員、松永委員、遠藤委員、川村委員、久保田委員、杉浦委員（小嶋委員代理）、杉山委員、高木委員、高橋委員、竹内委員、築地委員、村上（敏）委員、村上（光）委員、村田委員、湯浅委員
（21名中19名出席）

【議事内容】

- (1) 第6回安倍川流域委員会議事要旨（案）について
- (2) 意見聴取結果と河川整備計画（原案）の修正点について
- (3) 今後の進め方について

【議事要旨】

1. 第6回安倍川流域委員会議事要旨（案）
 - ・ 要旨案のとおり了承されました。
2. 意見聴取結果と河川整備計画（原案）の修正点について
 - ・ 当日頂いた下記の意見も踏まえ、中部地方整備局において整備計画案を作成していくことが了解されました。

<概要及び現状と課題等>

- ・ 山林を含めた流域全体の視点で管理を行っていくことを考えて欲しい。
- ・ 流域の概要において、原生林が卓越していると読める記述となっているが実際は植林の比率が高くなっている。
- ・ 河川の説明として、扇状地に開かれた市街地を貫流している河川の概要を記載すべき。

- ・ 治水事業の沿革において、過去に安倍川と藁科川が流路を別にして流れていた記載を確認して欲しい。
- ・ 整備計画ではこの30年間で何が達成されるかわかりづらいため、整備計画で何が達成されるか、ストーリー性があり一般の人に解るような広報資料を作成してはどうか。
- ・ 整備計画目標に対し、数年後にチェックを行うべき。

< 治水 >

- ・ 温暖化により洪水や渇水などがどう変わるかを検討していく必要がある。

< 利水 >

- ・ 安倍川は、水量が多いときは濁りが続き、少ないと水涸れが発生する。
- ・ 適正な河川水の利用における水涸れの発生頻度低減に向けた取り組みは、魚類は一度でも水涸れが発生すると問題であるため、水涸れの低減ではなく解消として欲しい。
- ・ 渇水時の状況を把握するためには長い年月の流量資料が必要。

< 環境 >

- ・ 生物とその生息環境の多様性に関する配慮が必要であることを記載すべき。
- ・ 河口に砂州ができて河口閉塞してしまうため、適正な管理が必要。
- ・ 不法投棄に対する管理をして欲しい。
- ・ 安倍川の景観は、砂利河川であることが大きな特徴である。また静岡市の代表的な景観として安倍川の砂利の川原の風景が取り上げられるようPRすべき。
- ・ 河川利用を進めるためにはトイレが少ないので、適当な場所に整備してほしい。
- ・ もっと市民に公開できる占用許可を行い、みんなが川に親しんで貰えるようにして欲しい。
- ・ 白濁の原因となる細粒物質は魚類等に影響を与えるため、影響があることを書いて欲しい。
- ・ 水質については日本一であったことを書くべき。

3. 今後の進め方について

- ・ 第8回委員会において整備計画の報告を行うことが、了承されました。